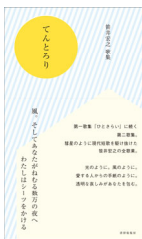


萩原朔太郎や西脇順三郎が激賞 現代詩の先駆者初の全集。

北海道余市町出身、10代で翻訳家としてデビュー。J・ジョイスやV・ウルフなどの翻訳を残し、詩誌『詩と詩論』ほかで活躍するも、24歳で亡くなった詩人左川ちか。すべての詩、散文、書簡、翻訳を初めて収録。編者による充実の年譜・解題・解説を付した。

左川ちか全集 左川ちか:著 島田龍:編 書肆侃侃房

四六判上製 416頁 2022年刊 ISBN:9784863855175 3,080円



現代短歌の粋。短歌を始める きっかけとなる1冊

〈風、そしてあなたがねむる数万の夜へわたしはシーツをかける〉夭折の歌人笹井宏之の頂点に立つ先鋭的歌集。光と風のように生まれた歌は人々の心を捉え、読み継がれています。

現在の短歌ブームの先駆者となった「新鋭短歌シリーズ」はここから生まれました。

てんとろり 笹井宏之第二歌集 笹井宏之:著 書肆侃侃房

A5判変形並製 160頁 2011年刊 ISBN:9784863850477 1,430円



気鋭の研究者による フェミニスト批評絶好の入門書

固定観念を破壊し、新しい創造的な解釈の助けとなるフェミニスト批評。その光が差すような楽しさを、幅広い題材と平易な語り口で痛快に説く! 「紀伊國屋じんぶん大賞2020」では第4位に輝き、今なお読まれ続けるロングセラー。

お砂糖とスパイスと爆発的な何か——不真面目な批評家によるフェミニスト批評入門

北村紗衣:著 書肆侃侃房

四六判並製 240頁 2019年刊 ISBN:9784863853652 1,650円

* 価格は10%税込です

受賞出版社紹介

第38回梓会出版文化賞

書肆侃侃房

2002年に創業し、20周年を迎えました。旅、文芸、人文書を中心に刊行し、最近ではテーマを持った旅本と短歌、海外文学、エッセイが増えています。これからも人と人とのつながりを大切に、ここ福岡の地で本づくりを続けていきたいです。



第38回梓会出版文化賞特別賞

タバックス

2012年に一人で始めた出版社です。「おもしろいことをおもしろいまま本にして気持ちよくお届けする」をモットーに様々なジャンルで気になるテーマの本を刊行、しごと・生き方・ジェンダー関連書が好評です。ZINEレーベル‘gasi editorial’始めました!



第19回出版梓会新聞社学芸文化賞

千倉書房

世界恐慌まっただ中の1929年に誕生した小社は、高橋是清や井上準之助らのベストセラーに恵まれ人文・社会科学系出版社としての地歩を固めました。定評をいただく政治外交・経済経営・近代史などのテーマを軸に、近年は大人のための絵本などへも出版活動の裾野を広げています。



第19回出版梓会新聞社学芸文化賞特別賞

ブロンズ新社

1983年創立。初期は文芸書や環境本などの単行本を出版。1990年初の絵本『らくがき絵本 五味太郎50%』を刊行し、次第に絵本にシフトして、現在は、絵本、児童書を年12冊刊行。2004年よりポローニャブックフェアにブースを出展、国際出版も積極的に行っています。



梓会 図書館クラブ 通信

Azusa-kai Library Club



図書館は本の森。出版梓会は事典から絵本までユニークな本を丁寧に作る出版社の集まりです。この葉では毎回テーマを決めて、読書の愉しみを、ひとりの時間を極上にしてくれるお宝本を、こっそりお教えします

「第38回梓会出版文化賞」
「第19回出版梓会新聞社学芸文化賞」
が決まりました!

この賞は、優れた出版活動を行っている
“出版社”を顕彰するユニークな賞です。
この号では受賞社の紹介と各社イチオシの近著
をご紹介します。

賞の詳細は、梓会HPまで。



番外編
2023

出版梓会
データダウンロードはこちら⇒





アクティヴィズムとして 書き続けた3年間の日記

「日記を書くことは、日本で生きているゲイ男性の1人としての「アクティヴィズム」でもあった」。新型コロナウイルス、東京オリンピック、元首相銃撃事件。著しい社会変化があった3度の夏、それでも生活は続いていく。注目のライターによる3年間の日記。

1日が長いと感じられる日が、時々でもあるといい

小沼理：著 タバックス

四六判並製 272頁 2022年刊 ISBN:9784907053574 1,980円



イ・ランといがらしみきお 魂がふれあう往復書簡

韓国のアーティスト イ・ランと『ぼのぼ』でおなじみの漫画家いがらしみきおによる1年間の往復書簡。経済、AI、神、映画など対話は広がり、数々の苦難のなか交わされたことばは、世代・性別・国境を超え、深い思索と愛に満ち溢れ、読み手の胸に迫る。

何卒よろしくお願ひいたします イ・ラン、いがらしみきお：著

タバックス 四六判並製 248頁 2022年刊

ISBN:9784907053550 1,980円



韓国フェミニズム最大のムーブメント、脱コルセットとは

ルックス至上主義、規範的女性性に抵抗する韓国の脱コルセット運動。若い女性たちが髪を切り化粧品を捨て、女性らしさを「電撃的に打ち切る」強いアプローチを取った背景とは。イ・ミンギョンが「脱コル」実践者たちと対話し、読解を試みた渾身の1冊。

脱コルセット：到来した想像 イ・ミンギョン：著 生田美保他：訳

タバックス 四六判並製 336頁 2022年刊

ISBN:9784907053536 2,200円



世界の果てを求め 人類の旅路を追体験しよう

西洋中世史の泰斗が学問的トポスを鮮やかに越境・縦断し、歴史を眺め渡すための予期せぬ視角を切り開きます。歴史の妙味を語って余すところなし。現代歴史学が、人類の知の歴史のなかでどのような理論的背景に拠ってきたかを詳らかにする17の特別講義。

歴史の歴史 樺山紘一：著 千倉書房

四六判上並製 480頁 2014年刊 ISBN:9784805110348 3,300円



小泉、鳩山、そして安倍も 政治制度改革の産物だった

選挙制度改革、官邸機構改革、政権交代を経て、首相の権力基盤と「日本政治」はどうか変貌したのか。刊行時、日本の首相はなぜ1年あまりで次々交代するのか、という謎に迫った本書は、安倍政権長期化の説明にもなっているとしてロングセラーとなりました。

首相政治の制度分析 待鳥聡史：著 千倉書房

A5判上製 224頁 2012年刊 ISBN:9784805109939 4,290円



75年間、1字も変わらなかった 憲法の意義と不思議とは

世界の憲法を比較すると、日本国憲法の持つ普遍性と特異点が見えてきます。世界にも例がないほど長らく変わらなかったことの意味と不思議を問い、移ろう時代や現実を前に、日本国憲法が今後もよりよくあるための方途を探ります。すべての憲法論議の前段に。

日本国憲法の普遍と特異 ケネス・盛・マッケルウェイン：著

千倉書房 A5判上製 240頁 2022年刊

ISBN:9784805111215 3,520円



ウクライナの作家が描いた 平和と戦争の絵本

2014年に勃発したロシアのクリミア侵攻とウクライナ東部の戦争を体験した著者が、戦争とは何か、子どもたちにシンプルな物語で伝え、親子で話し合うきっかけになる本をつくらうと、2015年に刊行した。ポーロニャ・ラガッツィ賞受賞。世界で22言語に翻訳出版。

戦争が町にやってくる ロマナ・ロマネーシン、アンドリー・レシヴ：作

金原瑞人：訳 ブロンズ新社 290×214mm上製 36頁

2022年刊 ISBN:9784893097095 1,760円



ヨシタケシンスケ 絵本デビュー作

テーブルの上りんごがおいてある。でも、もしかしたら、これはりんごじゃないかもしれない。もしかしたら、大きなサクラランボのいちぶかもしれないし、心があるのかもしれない…。もの見方はひとつじゃない。「考える」ことを果てしなく楽しめる、発想絵本。

りんごかもしれない ヨシタケシンスケ：作 ブロンズ新社

257×205mm上製 32頁 2013年刊 ISBN:9784893095626 1,540円



五味太郎 初のエッセイ&写真集 書くこと、そして撮ること

絵本作家・五味太郎が、何気ない日常、社会への違和感、歳を重ねて見える風景、人生の折々の出来事などを37篇の長短のエッセイに凝縮。五味が世界を旅して撮った写真48点も収録。画家ならではの鋭いまなざしと軽妙洒脱なユーモアが味わえる一冊。

6Bの鉛筆で書く 五味太郎：作 ブロンズ新社

205×165mm上製 160頁 2022年刊 ISBN:9784893097033 1,760円



この「通信」を読んだ 図書館司書のかたへ♥ 是非にお願いします ♪ 今回は出版社特集。この4つの受賞出版社の本でコーナー展示を企画してみませんか♪